



神学・宗学は実証的宗教心理学と連携・協働することができるのか －実証的宗教心理学の挑戦（2）－

ミッション校の精神的基軸 「キリスト教ヒューマニズム」尺度作成の試み

森本真由美（清泉女子大学）

日本心理学会第87回大会 2023年9月15日

はじめに

神学と心理学をいかに結びつけるか (連携・協働できるのか)

- 研究手法が異なる
(神学は文献研究が主流)
- 神学は信仰が前提
(日本における神学は司祭養成、宗教科教員養成のカリキュラム)
- 神学は教義に基づく人間理解・人間観
(人間の言動、心の動き ← 「聖霊」の働き、促し)
- ◆ 哲学や神学だけで人間理解はできない。
「様々な学問領域との協働が必要」という流れも。



「神学」との協働にあたり、「心理学」の研究方法で何が明らかになるのかを丁寧に説明、理解していただく必要がある。



神学とは？

「神学」と「心理学」の関心・問い合わせ異なる。共通の問い合わせを持つために、実践課題に焦点を当てることが協働のポイントに。

SDGs
国際協力
世界の問題

カトリック小・中・高
ミッショナリースクールの問題

信徒の教職員の減少
宗教科か、道徳か

日本におけるカトリック神学部（バチカンの教育省の監督下に置かれている）上智大学神学部は、キリスト教的価値観に基づいて現代社会、世界を展望する力を養うことを目指す。

哲学 教父学

旧約聖書

キリスト教の歴史

新約聖書

キリスト教教理史

聖書学

平和学

典礼学

教会論

キリスト教藝術
(音楽・美術・文学)

秘跡論

教会法

宗教科教育法

倫理神学

宣教學

教会の組織運営の問題

召命の減少
地方教会の運営
信徒の高齢化
財務の問題
施設維持の問題
「対話」の試み

カトリック大学の問題

カトリック女子大学の定員割れ
修道者の減少で伝統継承の危機

修道者の高齢化
召命の減少
施設をどう維持するか

修道会の活動継続の問題

神学と実証的宗教心理学の連携・協働を目指して



上智大学大学院神学研究科
博士課程研究生
神学部3年次編入
神学研究科修士課程

白百合女子大学大学院
発達心理学専攻博士課程
心理学で宗教性発達の研究に
取り組む

カトリック教育学会等で発表



2022年
上智大学教育イノベーションプロ
ジェクト『街角のヒューマニズム』
パイロット授業
学生のリアクションペーパー分析

心理学で「宗教性
発達」を研究しても
「神学」からは
なかなか共感を得
られない。

心理学と神学と
の協働を目指し、
「神学」の立ち
位置に。



2021年春スタート
上智大学教育イノベーションプロ
ジェクト『街角のヒューマニズム』
勉強会
シンポジウム

大学院進学とともに、
上智大学のプロジェ
クトに参加。「キリ
スト教ヒューマニズ
ム」について考察。



2023年
上智大学教育イノベーションプロ
ジェクト『街角のヒューマニズム』
「キリスト教ヒューマニズム」尺度作成
報告書の出版準備

キリスト教ヒューマニズムとは？

多くのミッション大学で建学の理念として挙げられる「キリスト教ヒューマニズム」は学生・教職員にどのように理解されているか？ 浸透していない？

- 「上智大学2021年度卒業時成長実感調査の結果について」報告書
建学の理念であるキリスト教ヒューマニズムに触れてこれを理解できたか？
という質問に対する、5段階の学生の回答から見えてくるもの…
- キリスト教ヒューマニズムとは？
キリスト教（的）ヒューマニズムChristian humanismは、新カトリック大事典（上智学院新カトリック大事典編纂委員会、研究社）によると、真に人間的な文化価値と伝統はキリスト教信仰にとって価値をもち、信仰によって統合されるとき初めて真価を發揮するようになると考える思想とされる。
- 「キリスト教（の世界観）による人格教育」、「キリスト教ヒューマニズム」という精神が掲げられた時、「キリスト教」の世界観を知らない人は理解できるだろうか。

イエズス会教育における キリスト教ヒューマニズム 7つの命題

存在そのものが善である

キリスト教ヒューマニズムの定義はこの7つの命題であるという意見もある一方、定義化されていないという意見もある。なぜ統一されていないのか、浸透していないのか。では疎外しているものは何か、促進するとしたら何が必要なのか…。

人間は神の像である

全面的な人間陶冶

人間に人間を啓示するイエス

「古い人間」からの脱却

他者に生きる

神はすべてのものにまさる

「キリスト教ヒューマニズム」尺度の作成

「キリスト教ヒューマニズム」尺度作成をしてみようという流れに！

先行研究の概念の扱われ方の確認

- 18, 19世紀において啓蒙思想等ヒューマニズムの思想が復活し,20世紀になってヒューマニズムの思想がキリスト教内部において開花する。その先駆者の役割を果たしたのが、フランスの哲学者Jacques Maritain。さらに、第二バチカン公会議がこのヒューマニズム的な思想をはっきり打ち出す。メネシュギ師（イエズス会士）による「キリスト教ヒューマニズム」7つの命題は聖書や第二バチカン公会議に従って、ヒューマニズムの内容をまとめたもの。
- 「キリスト教ヒューマニズム」といった時の「キリスト教」の捉え方が曖昧。「ヒューマニズム」の定義が曖昧と指摘する先行研究が多い。

予備調査

● 上智大学の教職員へのインタビュー調査

- ①あなたの働きの中で「キリスト教ヒューマニズム」を実感された場面やご経験を教えてください。
- ②「キリスト教人間学」ご担当者の方にお聞きします。この授業を通して学生に最も伝えたいことは何ですか。
- ③あなたはキリスト教ヒューマニズムを基盤にするこの大学で働くことでどのような発見や気づきがありますか？他の場所と比べて何か良かったこと、関わりの中で恵みを受けたこと、感じたこと等をお話してください。
- ④ご自身のお仕事の中で、どのようなときにキリスト教ヒューマニズムを基盤とした大学で働いていることを意識しますか。

「キリスト教ヒューマニズム」7つの命題のパイロット授業

尺度作成のために
キーワードを抽出
したい…しかし

7つの命題に準じ
た授業のリアクシ
ョンペーパー分析



習ったことの感想

自由に対話をして
もらう「ワールド
カフェ」からの
キーワード抽出。
限定的？

尺度作成のための予備調査と
してインタビュー調査実施へ



インタビュー調査での キーワード抽出

「キリスト教ヒューマニズム」は進化してきている。

キリスト教と「SDGs」のような価値観との橋渡しとなる基盤になるのではないか。
(未信者教員)

キリスト教文化の土壌のない日本において、「神学」からではないキリスト教への視点に希望を感じる。

「他者のために、他者とともに」
→他者とは誰のことか？

自分たちが特権階級であることの理解
→弱者に気づく

一人ひとりを大切にする
かけがいのない存在（自己）
→大事にされているという体験
人間の尊厳

小さな属性を超えて、
より大きな視点をもつ
→時間的・空間的に広い視野の倫理観
共通善

伝統（教授であり、司祭であるイエズス会士の生き方）
空気のようなもの、雰囲気
→ソフィアファミリー

今後の連携・協働



「キリスト教ヒューマニズム」
尺度の作成



予備調査
大学教職員へのインタビュー



質問紙調査の実施
仮説の検証



今後、大学において建学の
伝統を担つておられた
修道者減少の中で
どう伝統を継承するのか
という提言へ

社会的事象に関わる実践
課題に対して「神学」と
「心理学」「経営学」等
の協働を目指したい。

カトリック女子大学存続の
ための研究への応用
(実はすでに修道者ゼロ)

ご清聴ありがとうございました

森本真由美（清泉女子大学）

mmarieluc08@gmail.com